

研究結果報告書

所属 韓国外国語大学校

役職 招聘教授

氏名 白賢美

研究結果

日本伝統芸能を活用したインバウンド観光戦略－金丸座と内子座の公演を中心に－
本研究は、地域活性化の一つとして四国の地域劇場で上演されている伝統芸能に焦点を当て、それがインバウンド観光戦略としてどのように活用されているのか、その活用実態を分析するものである。

そのため、第一に、金丸座の再現のきっかけを中心に見てみた。重要文化財である金丸座でこんぴら歌舞伎を開催し、全国から観客が集まるように導いた要因について検討した。その結果、放送の役割、歌舞伎役者と松竹の協力があつた。更に、人力車に乗った人気歌舞伎役者のパレードから始まるイベント、江戸にタイムスリップしたようなお祭り空間としての特別な体験ができるということだった。これにより、観客と役者との間に一体感が生まれ、役者と観客とが交流できる劇場として全国に知られたブランドになれたと考えられる。

第二に、復元された伝統芸能舞台の活用実態について検討した。文化財保護政策において文化財の効果的な発信という発想の転換により伝統芸能舞台の復元を通じて文化資源の価値を極大化させることで経済効果を高めていた。ここには地域の協力者と観光業界の人物が文化と観光を繋ぐ多様な役割を果たしていた。それに加え、伝統文化を活用した温泉の商品化が融合した形の祭りマーケティングで、こんぴら温泉郷が活用されていた。

第三に、金丸座の活用実態は肯定的な評価を得ているにもかかわらず短期間の行事という点、高齢化社会が進んでいるという点などを考慮して新たな対策も取り入れる必要があると思われる。従って、仮想現実、拡張現実技術を導入した観光アプリケーションの活用と多様な文化コンテンツに基づいた体験型施設を強化する必要性なども言える。

以上、日本伝統芸能を活用した観光戦略に関する考察により、建築、演劇、観光資源の合致及び地域住民の意志と役割が大きく作用することが判明した。今後、金丸座によって示された文化財の有効活用事例を通じて、韓国の使える地域資源の探り、伝統公演芸術コンテンツを活用した地域活性化策を模索し、提言したいと考えている。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

「地域劇場を活用したインバウンド観光戦略ー四国の伝統公演を中心にー」、
白賢美、『日語日文学研究』第122輯、2022年8月

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)